

# 無人化施工バックホウが噴火に備えた防災訓練に参加!

中部技術事務所

10月19日富士山の噴火に備えた大規模な防災訓練が実施されました。中部技術事務所は、噴火に起因する土石流対策工法のうち、堆積工を行うため無人化施工バックホウを訓練に参加させました。



重機オペレータ

### 堆積作業手順と効果

- 掘削**  
沈砂地や既設砂防堰堤上流側の堆積土砂をバックホウで掘削し、容積を確保します。危険な場所での作業となるため災害に備えてリモコン操作を行います。
- 押土**  
掘削した土砂をブルドーザーで押土し、影響のない範囲まで押し出します。
- 堆積工完成**  
容積を確保したら完成となります。
- 効果**  
堆積工を実施した場合  
降灰後土石流等による流出土砂を一時的に貯留することで下流への直撃を緩和し、住民の避難する時間を確保します。  
堆積工を実施しない場合  
降灰後土石流等が直接的に流下し、下流へ被害を及ぼします。

【中部地方整備局 10/16付け本訓練 記者発表資料より抜粋】



### 操作をサポート



画像モニター



画像通信装置

災害対策を支援する  
中部技術事務所の無人化施工バックホウ